

アジア政経学会 2010年度第3回理事会 議事録

1. 日時 2010年7月3日(土) 15:20~17:20
2. 会場 東京大学東洋文化研究所(本郷キャンパス) 3階・第一会議室
3. 理事総数 24名
4. 出席者 13名(大橋、梶谷、金子、木曾、巖、園田、高橋、高原、竹中、谷垣、田村、松田、丸川)
5. 委任状提出 8名(家近、高、佐藤、澤田、玉田、唐、山本、脇村)
6. 出席者合計 21名
7. 議長 高原理事長
8. 議事

(ア) 15時20分に高原理事長が議長席に着き、開会を宣言。総務担当・園田理事より本日の出席者が21名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として園田氏、松田氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

(イ) 前回(2010年5月22日)理事会議事録の確認を行った。

議案1 公益法人制度改革について

高橋理事(公益法人制度改革担当)、田村理事(公益法人制度改革担当)より、本日午前11時から開催された公益法人制度改革に関するワーキンググループの会合での議論の紹介があった。また他の学会においても、改革のタイミングについて計りかねており、公益目的支出計画の作り方とガバナンスのあり方が大きなポイントとなることが紹介された。今後は、担当理事を中心に具体的な案を詰めることとし、国際政治学会などと協調したり、公認会計士資格をもつ会員からの情報を得たりといった方法を通じて、改革に伴うコストを下げる努力をすべき点を確認した。

議案2 本年度全国大会(東京大学駒場キャンパス)の準備状況について

谷垣理事(大会実行委員会委員長)より、大会運営(企画・経費を含め)について詳細な説明報告があり、今後も報告に沿った形で大会に向け運営を進めていくことを確認した。竹中理事(研究企画委員会主任・東日本研究担当)、巖理事(研究企画委員会副主任・西日本研究担当)より、全国大会に向けて自由論題・自由応募分科会の応募が多数あり、現在、審査および内容確認を行い、早急なプログラム作成作業に当たっている旨、報告があった。また、7月下旬までには応募者に可否の連絡を取ることが確認された。園田理事(総務担当)より、会員以外に応募者に対しての扱いについて質問があり、会員申請をしてもらうことで了承された。

議案3 本年度東日本大会、西日本大会の実施について

竹中理事（研究企画委員会主任・東日本研究担当）より、北海道大学スラブ研究センターの協力の下で開催され、全国から多数の参加者があり盛況に終了したことが報告された。また巖理事（研究企画委員会副主任・西日本研究担当）からは、京都大学で開催され全国から多数の参加者があり、盛況に終了したことが報告された。

議案4 会費割引に関する規定について（継続）
梶谷理事（財務担当）より、継続審議であったアジア政経学会会員規則の改正案の提案および2010年度会費から運用したい旨、報告があり承認された。

議案5 『アジア研究』の編集状況について
大橋理事（編集担当）から、『アジア研究』第56巻第3号（2010年7月号）の編集状況について説明があった。高橋理事（前編集担当）より、第56巻第1・2合併号が発行されたことが報告された。巖南堂書店経営撤退に伴い従来の学会誌流通のルートを紀伊国屋書店などに打診していることが報告された。

議案6 ニュースレターの編集について
丸川理事（ニュースレター担当）より、原稿の集まりが順調であることが報告された。

議案7 ホームページの更新について
担当理事の代わりに園田理事（総務担当）より、日常的な業務を順調にこなしている旨、報告された。

議案8 本年度優秀論文賞について
議論を次回に持ち越すことで了解された。

議案9 第1回定例研究会について
金子理事（副理事長）より、第1回定例研究会に多数の応募があり、金子理事、巖理事、竹中理事で審査し2010年7月3日（土）東京大学（本郷キャンパス）東洋文化研究所3階・第一会議にて午後1時から開催され、学会理事、一般会員を前に2名の報告があったことが報告された。今後、ホームページ上で募集を継続することを確認した。田村理事より、研究会の報告をニュースレターに掲載してはとの提案がされ、承認された。

第1報告者：関山 健（東京大学新領域創成科学研究科博士課程）

第2報告者：黄 宰源（早稲田大学アジア太平洋研究科博士後期課程）

議案10 入・退会者について
園田理事（総務担当）より、入会申請者13名（優待申請者1名含む）、再入会

申請者なし、退会者3名、優待申請者1名（同時に入会を申請）、逝去1名、休会申請者なしの報告がされた。

<新入会>ボ・ヤント、土屋貴裕、相本歩美、朱海燕、長澤裕子、阿部明子、晏英、橋口善浩（会費優待）、何正鋒、張継佳、重政公一、香川めぐみ、高橋正樹

<再入会>なし

<退会>中内恒夫、加藤義喜、スアハシル ナザラ（2010年5月22日理事会にて入会承認後、代理人により入会申請の取り消し依頼）

<逝去>桜井一郎

<休会>なし

<優待申請>橋口善浩（神戸大学大学院経済学研究科 研究員（ポスドク研究者）

1. 院生およびそれに準ずる会員

同時に入会申請。研究機関に在籍のため現在の会則では条件を満たさない可能性があったが、会員規則の改正にあたり、認めることで承認された。

2. 満65歳以上かつ定職についていない会員

申請なし

その他

次回理事会は9月4日（土）15時00分から、東京大学東洋文化研究所3階大会議室にて開催予定。

以 上

高原理事長が午後17時20分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成22年7月3日

特例財団法人アジア政経学会

議長

高原 明生



議事録署名人

園田 秀人



議事録署名人

松田 泉博

